

平成 23 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400087	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢		
所在地	(246-0038)		
	神奈川県横浜市瀬谷区宮沢3-21-25		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成23年9月	評価結果 市町村受理日	平成23年12月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎月レクリエーションの一環として、自主防災訓練を実施しています。又、町内会を通して、近隣の方々や近隣施設へ火災時等の支援・協力をお願いしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年10月13日	評価機関 評価決定日	平成23年12月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><事業所の優れている点> ◇地域交流 事業所は地域との交流に努め、町内会へ加入して、盆踊りや神社の例大祭に参加し、地区主催の「ほっとサロン」でお茶会や歌を楽しみながら、地域の人々と交流している。 ◇防災訓練と地域からの支援協力 防災体制の強化に努め、年2回の消防署の指導で、消火、通報、救命、避難と、夜間想定避難訓練を実施している。更に事業所独自に、毎月自主防災訓練を実施している。これにより職員と利用者の防災意識も向上し、回を重ねる毎に避難もスムーズに短時間で、順調にできるようになってきた。 地域の防災訓練にも職員が参加し、事業所の訓練には地域の人々や近隣の別法人事業所が連携、協力してくれている。</p> <p><事業所が工夫している点> ◇天気の良い日は近所に散歩にでかけているが、体調のすぐれない方や外出を希望しない方には、1~2階のテラスのベンチで、景色を見ながら外気浴や日光浴を楽しむように支援している。 ◇家族会は、家族が集まりやすいように、2か月毎の行事の後に開催し、その折に家族の意見や要望を聞いて、運営に反映させるように努めている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢
ユニット名	1 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔」「地域にホームを知ってもらおう」というホーム独自の理念を掲示、会議等で周知・実践に向けて確認し、共有しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を玄関とリビングに掲示し、会議等で管理者以下全職員が確認している。 ・理念の一つである「笑顔」が、日々の介護の中で、常に実行できるように心掛けている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩等の際は挨拶を交わし、地域の行事や「お茶会」等に参加できる機会を大切にしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との交流では、町内会に加入し、地区主催の「ほっとサロン」でお茶や歌を楽しみ、隣の神社の年2回の例大祭にも出かけている。 ・その他、例年の地域の防災訓練に職員が参加している。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々の理解を得られるよう、消防訓練やイベントへの参加を募り、地域懇談会を開催しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一度の会議に参加し、活動報告・ホーム情報等の公開を行い、頂いたご意見を、サービス向上に活かすよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・同一法人内の近隣の3事業所が合同で、3か月毎に運営推進会議を開催し、町内会長、連合副会長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得ている。 ・席上、地域行事情報の提供や災害用の備蓄奨励の意見があり有益だった。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターや、福祉課・保護課へ連絡を取り、助言や協力を得ながら、ケアサービスの向上に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬谷区役所へは要介護認定更新手続きに行ったときなどに担当者と面談し、事業所の近況を説明して指導を受けている。 ・その他介護に関する諸資料・情報の提供を受け、家族からの相談、質問に対応している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回「身体拘束廃止委員会」を開催、身体拘束ゼロに向けての勉強会を行い周知徹底、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	・身体拘束をしないケアの実践のために、玄関に身体拘束排除宣言を掲示し、事業所内で毎月身体拘束廃止委員会を開催し、周知徹底を図っている。 ・玄関前は車の往来があり安全上、防犯上の観点から自動ロックしている。	・利用者の見守り方法の再検討などから、玄関の日中開錠の検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や研修等で周知徹底し虐待防止に努めています。又、いつでも閲覧できるよう、マニュアルを常備しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などで学んだことを活用できるよう、現在、検討中です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・契約解除時共に、丁寧な説明を行い、理解・納得して頂けるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年6回の家族会を通し、意見交換を行い運営に反映しています。又、自由な意見・要望を表せるよう「意見箱」を設置しています。	・2か月毎の行事の後の家族会や面会来訪時に、家族から思いや意見を聞き、また事業所内に意見箱を設置して、出された意見は運営に反映するように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議や全体会議などで職員の意見を集約し、決定された事項は申し送りとして全職員へ伝達しています。	・ 諸会議で職員から業務改善の提案、要望を訊いて運営に反映している。事例としては、新しいレクリエーションやアニマルセラピーの提案があった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の状況に配慮し、無理のない勤務体制作りを努めています。又、定期個人面談を実施し、働きやすい職場環境を作るよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供を行ない、積極的に参加するよう促しています。又、事業所内研修を行い、職員のケア向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームと連携して、防災訓練等を行なうなど、ネットワークづくりに努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実態調査書をもとに、利用者の生活歴や現在の状況を把握し、不安などを丁寧に傾聴、安心して頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の施設見学・事前調査時などに、ご家族の不安・要望等を傾聴、丁寧な説明を行い、信頼関係を築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の状態・必要としているサービスを把握し、医療機関とも連携し、迅速に対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事やおやつ、掃除や洗濯物等の家事、散歩やレクリエーションなどの日常生活を共に過ごし、良い関係を築けるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共に、利用者を支えてゆくという考えを基に、共に相談・協力を仰いでいます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の同意のもとで、友人・知人と電話や面会が行なえる環境を整えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・数人の利用者にそれぞれ友人の訪問があり、家族の了解を得て湯茶を提供し、居室で楽しく歓談できるように支援している。 ・行きつけの美容院や医院へ行くときや墓参は、家族に同行をお願いしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の座席位置等にも配慮しています。又、職員が間に入り、利用者同士のコミュニケーションがとれるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人で発行している、フリーペーパーなどを発送しています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話や表情、仕草の中から、一人ひとりの思いを把握するよう努めています。	・普段の何気ない日常会話の中から、思いや意向を聞きだすように努め、その内容は申送りやケア会議で伝達し、生活記録に記入して、職員同士で共有して介護している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査表をはじめ、利用者・ご家族との会話から情報収集を行い、全職員が共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの食事量、バイタル測定、排泄状況や言動などを記録に残し、生活情報を共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月及び6ヶ月経過毎にモニタリング・カンファレンスを実施。6ヶ月経過時は、利用者・ご家族の意向を反映した介護計画を立てています。	・毎月のカンファレンスで職員間で意見交換して、更に本人、家族の希望や医師の意見を反映して介護計画を作成している。 ・介護計画は、3か月、6か月経過毎にモニタリングして見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をはじめ、いつもと異なる言動などを詳細に記入、全職員が情報を共有しながら、ケアプランの見直しなどに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりの状況やニーズに対し、迅速かつ柔軟に対応できるよう、取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	「ほっとサロンゆうあい」でのお茶会へ参加。又、近隣施設や近隣住民の方々へ、火災時などの協力要請を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族・同意のもと、月2回、訪問診療医による、定期的な受診を受けています。	・入居前のかかりつけ医に2名が家族同伴で受診し、その他の方は協力医の往診を月2回受けている。 ・医療連携看護師が健康管理に毎週、歯科医が月2回、歯科衛生士が月4回診察、処置に来訪している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診機関及び医療連携看護師と情報を共有し、利用者が適切な受診や看護を受けられるよう、相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関、ご家族との連絡を行い状況把握に努めています。又、退院後は、サマリーや往診医からの情報を基にケアしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重要事項説明書で重度化対応の指針を説明、又、当社の看取り指針を基に、家族会などで話し合いを行なっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や終末期の対応については、入居時に重要事項説明書で重度化対応指針を説明している。 ・管理者が設置法人の看取り研修を受講しており、家族会の席上でも、看取りに関する家族の考えを聞いたり、話し合っている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署員の指導にて、AED含む救命法の訓練を行っています。又、緊急時マニュアルを掲示し、緊急時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署員の指導・地域住民の協力を得ながら「夜間想定・消防訓練」を実施しています。又、独自に「自主防災訓練」を毎月1回実施し、災害に備えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は年2回、消防署の立会で夜間想定訓練も行い、更に毎月自主防災訓練を利用者を交え実施している。訓練には地域住民の参加も得ている。 ・非常用備蓄は収納場所がなく、充分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に備えて、食料や飲料水、排泄用品を3日分程度と、防寒用品、携帯電灯などを、収納場所を工夫して、備蓄しておくことが望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者への敬意を示し、一人ひとりの人格を尊重するよう努めています。又、居室の小窓に目隠しを付けるなどし、プライバシーに配慮しています。	・利用者一人ひとりの人格を尊重し、トイレ誘導などは耳元でさりげなく声かけしている。 ・日常生活では何事も本人のペースを尊重し、必要以上に介入しないよう、自立支援に心掛けている。 ・新入社員には、利用者への言葉遣いや接遇のあり方を教育している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの出来る事・したい事等を共に探し、自己決定に繋がるよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由な生活をして頂けるよう、一人ひとりの体調やペースに合わせ、レクリエーション等を行なっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の意思を尊重しながら、訪問理美容にて、散髪や顔そりなどを実施しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が安全で楽しみなものになるよう、一人ひとりの食事形態へ配慮しています。又、家事の好きな利用者は、テーブル拭きや食器洗いなど、職員と共に行なっています。	・利用者は盛付け、配膳、下膳などできることを手伝って、食事時間は音量を抑えたBGM音楽を聞きながら、職員と一緒に楽しく食事をしている。 ・日々の献立は設置法人本部が作成しているが、行事食には利用者の好みを反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立表に基づき調理され、食事摂取量や水分摂取量を記録。一人ひとりの状態に応じ、医療関係者と相談し、食事形態を変更しています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師・衛生士による管理指導に基づき、毎食後の口腔ケアを促し見守り、必要に応じ介助を行なっています。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表へ記録し、一人ひとりの排泄パターンを把握、トイレ誘導や見守りを行なっています。	・排泄チェック表により一人ひとりの排泄リズムを把握し、見守り、自立、定時誘導（食事前、外出時、夜間）など、利用者一人ひとりへの介護対応に合わせて、排泄自立を支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や散歩などの適度な運動・水分補給を行い、便秘予防に努めています。又、必要に応じ、主治医からの下剤処方を行なっています。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いせず、その日の体調や希望に合わせて、楽しく入浴できるよう支援しています。	・利用者は原則的には週3回入浴し、希望により毎日の入浴も支援している。障害のある方はリフト浴も利用できる。 ・お風呂を好まない方には、職員を変えたり話題を変えて、誘導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠の為、室温や照明の調整を行なっています。又、夜間不眠時には、お茶を飲んで頂いたり訴えを傾聴し、安心して眠れるよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤変更及び用量変更などは、記録や申し送りにて周知徹底し、ご家族へ服薬状況を報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみにしている事や、出来る事を共に探し、喜びを感じて頂けるよう努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの健康状態や希望に添って、散歩や日光浴などを行なっています。又、地域行事への参加を支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、近隣の神社に行ったり、体調が良ければ河川敷まで足を延ばすこともある。 ・車イスの方も、一緒に外出が楽しめるように支援している。 ・外出を好まない方や体調がよくない方にも、テラスで外気浴や日光浴を楽しめるように支援している。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月2回の訪問パン屋の際、選んだ商品の代金を支払って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの手紙や電話の取次ぎ、希望時には、電話を掛けられるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の写真や飾りつけで季節感を採り、温かい雰囲気作りに努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングは広くゆったりして、窓からの採光は豊かで明るく、テラスの先には畑と緑が広がり、四季それぞれの季節が味わえる。 ・テレビの前に畳を敷き、その傍らに大きなソファが置かれ、思い思いにくつろげる空間となっている。 ・壁面には利用者の写真や作品を飾って楽しんでいる。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースのTV前を一部、畳敷きにしたり、外には長椅子を置くなどし、くつろげる環境を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた仏壇や家具などを設置して頂き、塗り絵や折り紙などの自作品を飾り、落ち着いて過ごせる環境作りを行なっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の居室には、ベッド、クローゼット、整理タンス、洗面台が備えられていて、その他各自の思いで仏壇やテレビ、イスなどを持ち込んでいる。 ・壁にぬり絵など自分の作品を飾り、家族の写真を掛け、ぬいぐるみに囲まれて、居心地良く気の休まる場所となっている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入り口の壁面に顔写真を貼り、居室が「わかる」ように工夫しています。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			○ 3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			○ 3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			○ 3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自社の理念と、ホーム独自の理念を掲示・共有し実践に繋げるよう努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な挨拶をはじめ、ボランティアの受け入れ、防災訓練などに参加して頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の人を理解して頂く為に、どうすれば良いのか検討しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1度、3グループホームの合同運営推進会議で、各ホームの活動報告・情報の公開などを行い、そこでの意見を活かすよう努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	福祉課・地域包括支援センターからの助言を頂き、ケアサービスの向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1か月に1度「身体拘束廃止委員会」を開催し、身体拘束ゼロに向けての研修等で、周知徹底しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や研修で、虐待防止について学ぶ機会を設けています。又、心身の傷を見逃さないよう注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などで学んだ事を活用できるよう、検討中です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・解約時共に、不安や疑問を残さないよう、丁寧な説明に努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、意見や要望などを表せるよう、配慮しています。又、年6回・家族会での意見交換を、運営に反映するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回、各階ユニット会議を開催し意見交換を行なっています。又、会議録・引継ぎ時等で伝達し、ケアの向上に努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者による個人面談等を実施。シフトに関してできる限り、職員の希望を取り入れています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内・社外共に、研修のお知らせをファイリングし、研修の参加を促しています。又、ユニット会議にて、勉強会等を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	運営推進会議、エリア会議等で、運営者同志がネットワークづくりを行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実態調査書を基に、利用者のあらゆる情報を把握・理解し、不安の軽減及び信頼関係を築けるよう、努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や電話等で話し合う機会を持ち、要望に耳を傾け、解決してゆけるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて、家族と連携し迅速に対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	笑顔の絶えない環境を作り、共に生活する【家族】という関係を、大切にしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	良い関係を築く為、連絡を密に取り、情報を共有するよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、本人から情報収集を行い、馴染みの友人にも気軽に訪問して頂けるような、環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が仲良くコミュニケーションが取れるよう、難聴の方へのフォローにも努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	フリーペーパーやネット通信などを送ると共に、時折、電話で様子を伺っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の生活や、ご家族からの情報をもとに、本人の意思や思いに気付けるよう、努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の実態調査表や、本人・ご家族からの情報を把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日行われる申し送りなどから、利用者一人ひとりの情報を共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月及び6ヶ月のカンファレンス、モニタリングにより、本人やご家族の意向・職員の情報などを反映し作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段とは異なる言動や、続けて行なっている事などを記録し、情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の訴え・ご家族の意向などを尊重し、適切なケアを行なえるよう、努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	「ホットサロンゆうあい」でのお茶会参加や、地域の方々の協力を得て、防災訓練などに参加できるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、往診医の診察を受け必要に応じた相談、適切なアドバイス及び医療を得られるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、医療連携看護師へ日常生活の異変や気づきを報告・アドバイスなどを医師へ繋ぎ、利用者の健康管理を行なっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時・退院時には、サマリーや医師からの報告及び指導を受け、対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の思いを踏まえ、医師と相談しながら、支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	連絡網を作成し、急変や事故発生時に迅速に対応できるよう備えています。又、消防署の指導により、AED救命法などを定期的に訓練しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月1回、自主防災訓練を実施。年2回の消防署員の立会い訓練・アドバイスを受けています。又、町内会を通し、近隣の方々へ協力をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の人生経験などを傾聴するなかで、一人ひとりの人格を尊重し、敬う言葉掛けに努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を尊重し、洋服と一緒に選んだり、レクリエーションへの参加など、自己決定できるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの、その日の体調や希望を考慮し、散歩やレクリエーションなどを提供、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意思を尊重し、洋服選びや整容される際、必要に応じたアドバイスをし、その人らしさが表現できるよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食時、利用者と職員と一緒に、盛り付けや片付けを楽しみながら行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じて、常食・きざみ・極きざみに対応。又、食事摂取量・水分摂取量などを記録し、不足分を補うよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの状況に合わせて、口腔ケア実施を支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄能力を低下させることのないよう、声かけ・トイレ誘導などを行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や散歩など適度な運動を促し、便秘にならないよう予防支援を行なっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望や体調に合わせて、ゆったりと楽しめる入浴に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの希望を重視し、安心して気持ちの良い休息ができるよう、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師の指導を受け、職員全員で情報を共有し、服薬管理を遂行しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活リズムを把握し、趣味や興味のあるものを提供し、楽しんで参加できるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの体調や希望に応じて散歩を実施。又、ご家族との外出や、地域行事に参加できるよう支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望により、訪問パン屋やお買い物の際、代金を支払って頂くよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時に電話をしたり、手紙のやり取りができる環境を作っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の行事写真や、季節感あふれる作品を壁面に飾るなど、居心地の良い環境を作っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ前のソファやベランダのベンチなど、思い思いに過ごせる環境を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのあるもの・使い慣れたものを持参して頂き、心地よく過ごして頂けるよう工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗のないよう配慮し、自信に繋がれるよう支援しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

GHみんなの家 横浜宮沢

作成日

平成23年12月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		収納場所スペースが不十分な為、災害時の食料や飲料水、排泄用品などの備蓄が充分でない。	災害時に備え、3日分程度の備蓄を整える。	事業部へ、倉庫を購入して頂けるよう、働きかけている。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。